

# 第40回 監査役スタッフ全国会議のご案内

## 主 題

### 経営環境の変化と監査役スタッフの役割 — 内部統制の再検証 —

近年、グローバル化の進行、多発するM&A、テクノロジーの著しい進歩、少子化高齢化による労働人口の減少といった経営環境の変化により、海外子会社の増加、一部署当たりの社員の減少、事業や機能の中心を海外へ移転する等、様々な形で会社の組織の構成や、あり方が大きく変化する傾向にあり、今後も同様の変化が続いていくものと思われま

す。このような状況下では、監査役等は既存の業務プロセスを前提とした内部統制の運用状況の監査に留まらず、「取締役が企業の変化に応じて適切に、内部統制の構築状況の確認・見直し、組織風土・社員意識・コミュニケーションの状況等の把握・改善を実施しているか」の確認、言い換えれば現状の内部統制の再検証に注力する必要があります。本会議では内部統制の再検証にどのように取り組んでいくか、監査役等のスタッフの立場から共に考えていきます。

#### ■ セッションのポイント

##### 基調講演

各界の第一線で活躍されている方々から、分野に即した示唆に富むご講演をいただいております。今回の会議では、日比谷パーク法律事務所 代表／桐蔭法科大学院教授 弁護士 久保利 英明 氏より、「三つの誤訳（コンプライアンス、コーポレートガバナンス、アカウンタビリティ）が不祥事の温床に」、「不正の三要素と不祥事の真因」、「内部統制の老朽化と抜本的見直し」、「導入された司法取引と内部通報の綱引き」等をテーマにご講演いただきます。

##### 分科会

1日目及び2日目にそれぞれ4つの分科会をご用意しております。2日間で計2つの異なるテーマの分科会にご参加いただけます。今年は「内部通報の有効性と監査役スタッフの役割」をテーマとする分科会に琴平総合法律事務所 弁護士 北川 展子 氏（第3分科会）及び同事務所 弁護士 児島 幸良 氏（分科会C）を講師にお招きしご議論頂きます。ご関心のある分科会をご選択ください（定員になり次第〆切）。

##### 講演 I

本年7月、金融庁企業会計審議会より、監査人の監査報告書に「監査上の主要な検討事項」の記載を求める監査基準の改訂に関する意見書が公表されるなど、会計監査改革が進められています。本講演では、監査報告に係る監査基準の改訂の概要、今後の監査役等と会計監査人との連携の在り方等について、日本公認会計士協会 監査基準委員会 監査起草委員会委員 公認会計士 古賀 祐一郎 氏よりご講演いただきます。

##### 講演 II

企業統治、内部統制及び資本市場規制を専門とし、複数の上場企業において社外役員を務める明治大学 法学部 教授 柿崎 環 氏より、社外役員としての経験を踏まえて、我が国企業の企業統治及び内部統制の現状と課題、企業統治及び内部統制のあるべき姿、社外監査役等として果たすべき役割、監査役スタッフに対する期待と役割などについてご講演いただきます。

日 程 1日目 2018年9月13日（木）13：00～18：20（18：40～20：10 参加者交流会）  
2日目 2018年9月14日（金）9：00～16：20

会 場 ウェスティン都ホテル京都

〒605-0052 京都市東山区粟田口華頂町1（三条けあげ）TEL 075-771-7111（代表）

参加費 【会議のみ参加】1名につき25,700円※1

【会議・参加者交流会とも参加】1名につき36,000円※2

※1 1日目・2日目の会議・資料代、2日目の昼食代、消費税を含む。

※2 1日目・2日目の会議・資料代、1日目の参加者交流会代、2日目の昼食代、消費税を含む。

公益社団法人 日本監査役協会

Japan Audit & Supervisory Board Members Association

<1日目>9月13日(木)

<敬称略>

13:00~13:10	<b>会長挨拶</b> 日本監査役協会会長 岡田 譲 治
13:10~13:30	<b>企画委員長挨拶</b> 監査役スタッフ全国会議企画委員会委員長 野口 能 弘
13:30~15:00	<b>基調講演</b> 「もはや前例踏襲の時代ではない」—内部統制も監査役スタッフも— <講師> 日比谷パーク法律事務所 代表/桐蔭法科大学院教授 弁護士 久保利 英 明
15:00~15:20	<b>休憩</b>
15:20~18:20	<b>分科会</b> (各分科会とも、適宜休憩あり) <b>第1分科会「監査役スタッフ業務の概要と基礎知識」</b> [対象] 主に新任または経験3年までの方 [方式] 講義 <報告者> 本部監査役スタッフ研究会メンバー、東京ガス(株) 鈴木 友 紀 <報告者> 本部監査役スタッフ研究会メンバー、オリンパス(株) 野地 嘉 文 <報告者> 本部監査役スタッフ研究会メンバー、 (株)トリドールホールディングス 新熊 聡 <b>第2分科会「監査活動の現状と監査役役割・責任について」</b> [対象] 全員 [方式] 論点解説+グループ討議 <報告者> 関西支部監査役スタッフ研究会幹事、関西電力(株) 猪早 明 彦 <報告者> 関西支部監査役スタッフ研究会幹事、 (株)船井総研ホールディングス 貴島 康一郎 <b>第3分科会「内部通報の有効性と監査役スタッフの役割」</b> [対象] 全員 [方式] 講義+グループ討議 <講師> 琴平綜合法律事務所 弁護士 北川 展 子 <b>第4分科会「企業集団内部統制に係る監査の実効性向上に向けて」</b> [対象] 全員 [方式] 論点解説+グループ討議 <報告者> 中部支部監査役スタッフ実務部会幹事、 トヨタ車体(株) 伊藤 靖 男 <報告者> 九州支部監査役スタッフ実務部会幹事、 西日本鉄道(株) 堤 裕 一 朗
18:20~18:40	<b>休憩</b>
18:40~20:10	<b>参加者交流会</b>

## <2日目>9月14日（金）

【ご注意】2日目分科会は、1日目分科会と同内容です（1日目と異なる分科会をご選択ください）。

<敬称略>

9:00～12:00	<p><b>分科会</b>（各分科会とも、適宜休憩あり）</p> <p><b>分科会A「監査役スタッフ業務の概要と基礎知識」</b></p> <p>[対象] 主に新任または経験3年までの方</p> <p>[方式] 講義</p> <p>&lt;報告者&gt; 本部監査役スタッフ研究会メンバー、東京ガス(株) 鈴木友紀</p> <p>&lt;報告者&gt; 本部監査役スタッフ研究会メンバー、オリンパス(株) 野地嘉文</p> <p>&lt;報告者&gt; 本部監査役スタッフ研究会メンバー、 (株)トリドールホールディングス 新熊 聡</p> <p><b>分科会B「監査活動の現状と監査役役割・責任について」</b></p> <p>[対象] 全員</p> <p>[方式] 論点解説+グループ討議</p> <p>&lt;報告者&gt; 関西支部監査役スタッフ研究会幹事、南海電気鉄道(株) 池谷泰彰</p> <p>&lt;報告者&gt; 関西支部監査役スタッフ研究会幹事、 (株)船井総研ホールディングス 貴島康一郎</p> <p><b>分科会C「内部通報の有効性と監査役スタッフの役割」</b></p> <p>[対象] 全員</p> <p>[方式] 講義+グループ討議</p> <p>&lt;講師&gt; 琴平綜合法律事務所 弁護士 児島幸良</p> <p><b>分科会D「企業集団内部統制に係る監査の実効性向上に向けて」</b></p> <p>[対象] 全員</p> <p>[方式] 論点解説+グループ討議</p> <p>&lt;報告者&gt; 中部支部監査役スタッフ実務部会幹事、 トヨタ車体(株) 伊藤靖男</p> <p>&lt;報告者&gt; 九州支部監査役スタッフ実務部会幹事、 西日本鉄道(株) 堤裕一郎</p>
12:00～13:00	昼食（各分科会会場にて）・休憩
13:00～14:30	<p><b>講演Ⅰ</b></p> <p><b>「独立監査人の監査基準の改訂—監査上の主要な検討事項（KAM）の導入に向けて」</b></p> <p>&lt;講師&gt; 日本公認会計士協会 監査基準委員会 監査報告起草委員会委員 有限責任監査法人トーマツ パートナー公認会計士 古賀祐一郎</p>
14:30～14:50	休憩
14:50～16:20	<p><b>講演Ⅱ</b></p> <p><b>「公開会社における内部統制の展開と監査役スタッフに期待される役割」</b></p> <p>&lt;講師&gt; 明治大学法学部 教授 柿崎 環</p>

## <講師略歴>

### 久保利 英 明（くぼり・ひであき）

日比谷パーク法律事務所 代表／桐蔭法科大学院教授 弁護士

1944年生まれ。1967年司法試験合格。1968年東京大学法学部卒業。

1971年弁護士登録。（森綜合法律事務所入所）

2001年度第二東京弁護士会会長、日本弁護士連合会副会長。

現職：金融庁総務企画局参事、日本取引所グループ社外取締役、第三者委員会報告書格付け委員会委員長 等。

歴任：金融庁顧問、野村ホールディングス社外取締役、日本取引所自主規制法人外部理事等。不二家、NHK、ゼンショーホールディングス等多数の第三者委員会の委員、委員長。

『破天荒弁護士クボリ伝』（日経BP）など、著書全77冊。

### 古 賀 祐一郎（こが・ゆういちろう）

有限責任監査法人トーマツ パートナー 公認会計士

2000年10月公認会計士2次試験合格。国内法定監査業務を中心に担当。2016年パートナー。2016年日本公認会計士協会監査基準委員会監査報告起草委員会委員。

### 柿 崎 環（かきざき・たまき）

最終学歴；法学博士（早稲田大学）。職歴；2002年跡見学園女子大学マネジメント学部・准教授、2008

年東洋大学専門職大学院法務研究科・教授、2012年横浜国立大学大学院国際社会科学研究院・教授を経て、

2014年から明治大学法学部・教授（現在）。そのほか2016年からエーザイ株式会社および三菱食品

株式会社の社外取締役（現在）、2017年から日本空港ビルデングの社外監査役に就任（現在）。元公認

会計士試験委員、内閣府公益通報者保護専門調査会委員（現在）。主要著書；『内部統制の法的研究』日

本評論社・2005年（第20回「青木賞」（日本内部監査協会）受賞、第34回「学術賞」（日本公認会計士

協会）受賞、第11回「大隅健一郎賞」（公益信託大隅法学研究奨励基金）受賞）。

### 北 川 展 子（きたがわ・のぶこ）

琴平綜合法律事務所 弁護士

平成7年明治大学大学院法学研究科修士課程修了。平成15年金融庁監督局課長補佐。平成26年日本証券業

協会法務参事（現任）。平成27年高知銀行社外取締役（現任）。琴平綜合法律事務所。

### 児 島 幸 良（こじま・ゆきな）

琴平綜合法律事務所 弁護士

（京都大学法科大学院及び早稲田大学大学院法務研究科にて客員教授、同志社大学大学院司法研究科ビジ

ネス法務教育スーパーバイザー）

平成14年Harvard Law School卒業。平成15年金融庁総務企画局課長補佐。平成22年日本証券業協会外務

員等規律委員会委員。琴平綜合法律事務所。

## <分科会の概要>

分科会は1日目と2日目、計2回行われます。1日目分科会と2日目分科会は同内容です。両日を通じて計2つの異なる分科会にご参加いただきます。分科会のご選択に際しては、別紙「参加申込書」の注意事項も十分にご確認ください。

- \* 1日目は「第1～第4」、2日目は「A～D」と表示していますが、テーマ（内容）は同じです。
- \* 各分科会で取り上げる論点は、分科会相互で同様の内容が含まれる場合があります。予めご了承ください。
- \* グループ討議を行う分科会のグループは、6～8名程度で編成します（当日発表）。
- \* ご参加の分科会確定後の変更は受け付けておりません。

### 第1分科会／分科会A「監査役スタッフ業務の概要と基礎知識」

- \* 主に新任または経験3年までのスタッフの方を対象とした講義方式の分科会です。
- \* 昨年の内容と一部重複します。予めご了承ください。

講義では、本部監査役スタッフ研究会メンバーより、通年の監査役監査及び監査役スタッフ業務の概要、更には監査役スタッフとして兼ね備えておくべき基本的な知識について解説します。

また、同研究会報告書「『新オレンジ本』から読み解く監査役スタッフ業務の再整理（前編）」（8月上旬当協会ホームページ公表及び会議当日配布予定）から、「具体的な事例や実践」、「事例や実践に関する考察」等について適宜紹介します。

当分科会を通じて、新任のスタッフの皆様には監査役スタッフ業務に対する理解を深めて頂く一方、就任2年目以降の皆様には、ご自身の活動の内容と照らし合わせて頂くことで、今後の監査役スタッフとしての業務に役立てて頂くことを主な目的とします。

### 第2分科会／分科会B「監査活動の現状と監査役役割・責任について」

昨今のコーポレートガバナンス改革を受けた見直しが行われた監査活動について、より実効的な監査役監査を実践するための姿勢や取り組みについて考察します。

論点解説では、関西支部監査役スタッフ研究会メンバーより、同研究会報告書「監査活動の現状と監査役役割・責任についてーコーポレートガバナンス改革を受けた実効的な監査役監査を目指してー」（※会議当日配布予定、当協会ホームページ公表は10月上旬予定）から関連ポイントについて適宜解説を加えながら幅広く情報・意見交換することを目的とします。

具体的には、取締役会・その他重要会議への出席、役職員等からの報告、事業所等への往査、社外取締役・子会社監査役との連携、会計監査、内部通報制度等について、各社の対応状況と今後の監査役監査の実務における課題に関して、「ディスカッションポイント（例）」を参考に情報・意見交換を行います。

### 第3分科会／分科会C「内部通報の有効性と監査役スタッフの役割」

企業のリスク管理体制の整備・運用においては、風通しの良い企業風土の形成とともに、内部通報に対する信頼や安心感の醸成が必須と考えられます。

そこで、当分科会では、風通しの良い企業風土の形成と信頼される内部通報制度を実現するための実務上のポイントについて、琴平総合法律事務所 弁護士 北川展子氏（第3分科会）、および同事務所 弁護士 児島幸良氏（分科会C）から、まず約1時間監査役スタッフ向けにわかりやすくご講義いただきます（講義内容は両日とも同じです）。

具体的なご講義の流れは次のとおりです。①経営上のリスクに係る情報のメインの伝達経路となる職制上のレポーティングライン、②①が不全を起こした場合に機能するサブの伝達経路としての内部通報制度によるメインの補完、③①や②を有効に機能させるために監査役スタッフが果たす役割（制度の整備や適正な運用、従業員等への周知や制度に対する信頼性の評価・改善策等）、加えて、④内部通報と司法取引との関係（最高検察庁「合意制度の運用に関する当面の考え方」や近時話題の司法取引制度初適用事例

等) などにも言及します。

続くグループ討議では、「ディスカッションポイント(例)」を参考に、参加者各位による情報・意見交換を行います。グループ討議中、講師には各グループを巡回していただき、皆様の疑問や質問にその場でご対応いただきます。

#### 第4分科会／分科会D「企業集団内部統制に係る監査の実効性向上に向けて」

我が国企業はここ十年来、内部統制報告制度(いわゆるJ-SOX)や会社法に規定された企業集団内部統制システム整備への対応をはじめ、企業グループ全体における内部統制の構築・運用に注力してきました。その一方で、子会社発の企業不祥事が頻発している状況も見られるなど、経営環境の変化に対応した内部統制の整備及び監査の実効性を如何に企業集団として確保していくかが喫緊の課題といえます。

こうした課題に対応するため、当分科会では、各社の実務について共有を図ると共に、幅広く情報・意見交換をしていただきます。

まず論点解説では、国内外に事業拠点を置くトヨタ車体、及びグループ内に幅広い業種・業態の子会社を有する西日本鉄道より、それぞれ取組状況を報告していただきます。

続くグループ討議では、「ディスカッションポイント(例)」を参考に、子会社の内部統制システムの構築・運用状況の確認、子会社管理に係る親会社取締役の職務執行の監査、三様監査(監査役等、内部監査部門、会計監査人)の連携、子(親)会社監査役等との連携、それらにおける監査役スタッフの役割等の論点につき、参加各位による情報・意見交換を行います。

#### 【重要事項】

各分科会の詳細、参加にあたっての留意事項につきましては、当協会ホームページ内の「第40回監査役スタッフ全国会議のご案内」を必ずご確認ください(<http://www.kansa.or.jp>)。

ご選択の分科会によっては当日ご持参いただく資料がございますので、必ずご確認のうえ、ご準備をお願いします。

#### <申込方法>

- メール又はFAX・郵送にてご案内申し上げました「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、**FAXにて事務局宛ご送信ください(申込締切日:8月30日(木))**。電話による申込は一切、受け付けておりません。**送付先FAX番号:03-5219-6120**(お間違えのないようお願いいたします。)
- 申込書のFAXを受信後、先着順に受付番号を付し、**8月中旬より順次「参加票」をFAXにてお送りします。**
- 参加費のご請求については例年どおり、会議の後、9月末日に他の事業における費用と一括して、各社の議決権行使者(当協会に法人登録されている代表の監査役等)宛にご請求申し上げます。
- 会議参加を取り消される場合は、必ず電話(03-5219-6125)でご連絡の後、参加申込書に取り消しの旨をお書き添えのうえ、FAX(03-5219-6120)にて事務局宛ご送信ください。**9月6日(木)**までにFAXを受信したと認められる場合は、参加費用は発生いたしません。9月7日(金)以降にFAXを受信した場合は、参加費用全額をご請求申し上げますので予めご了承ください。

#### <宿泊の手配について>

ホテル宿泊の手配については、(株)JTBがお手伝いをいたします。ご希望の方は当協会ホームページよりご案内の手続きに従って各自ご自由にお申込みください(当協会では取り扱っておりません)。

第40回 監査役スタッフ全国会議企画委員会

- |       |         |               |
|-------|---------|---------------|
| ◎     | 野 口 能 弘 | 三菱重工業(株)      |
| ○     | 三 好 弘 之 | パナソニックホームズ(株) |
| ○     | 寺 田 晶   | セントラル警備保障(株)  |
|       | 平 林 征 則 | エーザイ(株)       |
|       | 藤 井 俊 博 | 日本車輛製造(株)     |
|       | 尾 崎 代 昭 | 小田急電鉄(株)      |
|       | 根 岸 司   | (株)電通国際情報サービス |
| ◎…委員長 | ○…副委員長  | <敬称略>         |

会議に関する問い合わせ先

公益社団法人 日本監査役協会 <電話：03-5219-6125>  
担当： 事業部業務第2課 上遠野（かとうの）  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1 丸の内中央ビル13階